

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

(仮称)BELISTA皆実町

CASBEE-広島 (2010年ver.1)

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目			評価点	重み係数	内 訳						
■ 1.「地球温暖化対策」の推進											
1.1 建物の熱負荷抑制											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 省エネ計算対象住戸（Fタイプ1501号室）において、平成11年度省エネ基準（次世代省エネ基準）を性能基準（熱損失係数及び夏期日射取得係数）により達成。（性能基準による住宅性能評価等級4に相当）	3.0	0.08	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	3	外皮性能	
	5.0	0.43									
		5.0	0.49	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制				
小計	4.8	0.36									
1.2 自然エネルギーの利用											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 窓からの有効的な採光、通風がされている。	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.1	自然エネルギーの直接利用			
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.2	自然エネルギーの変換利用			
小計	3.0	0.09									
1.3 設備システムの高効率化											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 照明器具に制御が設置されている。 エコキュート設置	5.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化					
小計	5.0	0.18									
1.4 設備システムの効率的運用											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください			LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング			
			LR1	エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制			
小計											
1.5 資源・マテリアル対策											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 節水の取り組みがある。 節水型便器設置	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水			
	3.0	0.12	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無	
			LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利用システム導入の有無	
	2.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減			
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用			
	4.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用			
	2.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材			
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			
小計	3.1	0.26									
1.6 ライフサイクルCO2排出率											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください CO2の排出されにくい設計になっている。	4.9	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮					
小計	4.9	0.11									
1.「地球温暖化対策」の推進の評価			4.3	0.72							
■ 2.「ヒートアイランド対策」の推進											
2.1 温熱環境の向上											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 高低の植栽で、放熱を緩和している。	2.0	0.49	Q3	室外環境（敷地内）	1	生物環境の保全と創出					
	3.0	0.24	Q3	室外環境（敷地内）	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上			
	3.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善			
小計	2.5	0.96									
2.2 交通負荷抑制											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 駐車場を広く設計している。	4.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制	
小計	4.0	0.04									
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価			2.6	0.15							
■ 3.「長寿命化対策」の推進											
3.1 耐用性の向上											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 劣化対策等級3 耐久性の高いものを使用している	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	1	耐震性	
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	2	免震・制振性能	
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	1	躯体材料の耐用年数	
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	2.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	
	5.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔	
小計	3.5	0.47									
3.2 設備の更新性											
(コメント) ※設計の計画上位段に配慮した事項を記載してください。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性	
	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給水配管の更新性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペース	
小計	3.0	0.53									
3.「長寿命化対策」の推進の平均点（上記2項目）			3.2	0.13							